

学校の教育目標	・思いやりをもち、協力し合い豊かな心をつちかおう。 ・進んで学習に励み、がんばりぬぐ力を身につけよう。 ・正しく厳しく美しく、生涯の基を築きます。
特別活動の目標	集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。(1)多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となる考えについて理解し、行動の仕方を身に付けようとする姿勢を育む。(2)集団や自己の生活における人間関係などの課題を見いだし、それを解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることを通して問題解決能力を身につけさせる。(3)自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。
目指す生徒像	・思いやりをもち、互いに協力し合い、豊かな人間関係を築ける生徒 ・自ら進んで学び、自己の将来をしっかりと考えられる生徒 ・困難に負けない、強く健康な心と体をもった生徒
特別活動の重点目標	様々な集団活動や体験的な活動を通して、豊かな学校生活を築くとともに、公共の精神を養い、社会性の育成を図るといふ特別活動の特質を踏まえ、よりよい人間関係を築き、社会に参画する態度や自治的能力を育成する。

	学級活動	生徒会活動	学校行事
目標	学級や学校での生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成し、役割を分担して協力して実践したり、学級での話し合いを生かして自己の課題の解決及び将来の生き方を描くために意思決定して、実践したりすることに自主的、実践的に取り組むことを通じて、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。	異年齢の生徒同士で協力し、学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向けて、計画を立て役割を分担し、協力して運営することに自主的、実践的に取り組むことを通じて、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。	全校又は学年の生徒で協力し、よりよい学校生活を築くための体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養いながら、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。
指導の方針	(1)学級で共通する問題を取り上げ、自主的・実践的な活動を通して、学級や学校生活づくりを図っていく。 (2)生徒が直面している問題とかかわりの中で人間としての生き方を探求する。また人間の諸活動の基礎となる健康安全や食を中心とした課題に対応するとともに、健全な生活態度や習慣の形成を図っていく資質や能力を育成する。 (3)生徒一人一人が、学ぶことと働くこと、そして、生きることに通じて自己の問題として真剣に受け止め、それぞれの深い結びつきを理解し、様々な課題に柔軟かつたくましく対応し、社会人・職業人として自立していけるようにする。	(生徒会)学校生活の充実や改善、向上を目指し、生徒の立場から自発的、自治的に活動が行われるように援助する。 (各種委員会)望ましい人間関係を形成し、集団や社会の一員としてよりよい学校生活づくりに参画する資質や、協力して諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度を育成する。	(1)学校行事が他の教育活動における学習や経験を総合的に取り入れ、その発展を図り、効果的に実施されるようにする。 (2)各教科等の学習を充実させることにより、学校行事の成果をあげ、学校教育全体の調和を図り学校生活をより豊かなものにする。
主な指導内容	(1)学級や学校における生活づくりへの参画 ①学級の課題把握や改善策を考える。 ②学級内の組織づくり(係活動)や仕事分担(当番活動)を行う。 ③委員会や部活動など多様な集団の生活の向上を図る。 (2)日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 ①思春期の不安や悩みとその解決。 ②社会の一員としての自覚と責任。 ③男女相互の理解と協力を図り、望ましい人間関係の確立を目指す。 ④ボランティア活動の意義を理解し実践力を高める。 ⑤心身ともに健康で安全な生活態度を身に付ける。 ⑥性的な発達への対応の素地を身に付ける。 ⑦給食の時間を基に、食育の観点を踏まえた望ましい食習慣を形成する。 (3)一人一人のキャリア形成と自己実現 ①学ぶことと働くことの意義の理解を深める。 ②自発的な学習態度の形成と学校図書館の活用を推進する。 ③進路相談を充実させ、望ましい勤労観・職業観の形成、主体的な進路の選択と将来設計が成せるようにする。	(1)生徒会の組織づくりと生徒会活動の計画や運営 生徒総会、生徒会役員選挙、生徒会誌の発行、各種委員会活動の充実 (2)学校行事への協力 運動会、合唱コンクールへの協力、蓮田種植え、蓮田収穫祭などの地域行事への積極的な参画 (3)ボランティア活動などの社会参画 生徒会による地域美化活動、東小松川地区防災訓練参加、エコキャップ運動、あいさつ運動への参加など	(1)儀式的行事：入学式、卒業式、始業式、終業式、修了式、着任式、離任式 (2)文化的行事：合唱コンクール、学習作品展、校内弁論大会、音楽鑑賞教室、食文化講演会、著作体験、連合学芸発表会(特別支援学級)、アイマスク体験、手話体験、点字体験 (3)健康安全・体育的行事：健康診断、薬物乱用防止教室、交通安全指導、避難訓練、引き渡し訓練、運動会、スポーツ大会、心と体の講話、都陸上大会(特別支援学級)、都バスケットボール大会(特別支援学級) (4)旅行・集団宿泊的行事：修学旅行、集団宿泊(移動教室)、連合宿泊学習(支援学級)、社会見学(都内めぐり、鎌倉社会見学) (5)勤労生産・奉仕的行事：職場体験活動(チャレンジ・ザ・ドリーム)、全校美化活動、地域社会への協力や校内外ボランティア活動、中央地域祭りボランティア
他各教科・読書科との教育活動との関連	学級活動における話し合い活動、言語等による表現や発表などが重要である。また、活動の企画・立案を行ったり、調査を行ったりすることもある。こうした活動の基礎となる能力を、各教科や読書科での学び合い活動や探求的な活動によって養う。また、各教科で培われる能力が発展的に一層高まり、深められるよう、学級活動における自発的な実践活動に重点を置く。	生徒会活動において、各委員会の諸問題を把握し、改善策を見いだし実践できるようにする。社会科公民分野、保健体育分野などの地域社会への参画する態度を養う単元内容と絡め、上記内容の充実を図っていく。	合唱コンクールについては、音楽科の学習との相互関連を積極的に図る。また、運動会については、保健体育科の学習成果を発表する場であるという視点を明確に位置付け、異年齢集団との交流を重視する。宿泊行事や社会見学については、社会科との関連を重視する。
特別の教科 道徳	自己の役割や責任を果たして生活しようとする態度、よりよい人間関係を築こうとする態度、自分勝手な行動をとらずに節度ある生活をしようとする態度、集団や社会の一員としてみんなのために進んで働こうとする態度、自治的に決まりをつくり守ろうとする態度、目標をもって諸問題を解決しようとする態度などを育み、自己のよさや可能性に自信をもち集団生活に参画する能力を身に付ける。	生徒がよりよい生活を築くために、諸問題を見いだし、これを自主的に取り上げ、協力して解決していく自発的、自治的な生徒会活動を通して、望ましい人間関係の形成やよりよい生活づくりに参画する態度などにかかわる道徳性を身に付ける。	いずれの行事についても道徳性を養うことを重視するが、特に次の行事については重点的に扱う。 ・運動会、合唱コンクール：学級や学校の一員としての自覚をもち、協力し合ってよりよい校風をつくるとともに集団の中で自分の役割と責任を自覚し、自己肯定感を高め集団生活の充実にも努めること。
総合的な学習の時間	学級活動で育成する集団や社会の中でよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度と、総合的な学習の時間で育成する問題を解決する資質や能力を相互に役立たせるように、指導内容の一体化を図っていく。	生徒会による諸活動の実践を通して、自分とのかかわりを視点とした問題発見能力、課題解決能力などを育成するとともに、これらを総合的な学習の時間の諸活動に役立てるようにする。	家庭や地域の人々との連携を深め、その教育力の活用を図ったり、地域の自然や文化、伝統を生かしたり、社会教育施設等を活用したりする活動が展開できるよう工夫する。
家庭や地域との連携	生徒は、学級や学校の一員として学校生活を送るとともに、家庭や地域の一員として生活している。学級活動の指導においては、家庭や地域の人々との連携・協力が重要な意味をもっていることから、学級や学校内の情報を発信していくとともに、社会教育施設等の活用などを工夫する。進路学習の指導においては、関係機関等の専門家などから話を聞くなどの活動を積極的に取り入れていく。	必要に応じて、校内の活動だけでなく、他校との相互交流を図ったり、地域社会との連携を深めたりするなど、校外での活動への広がりを図る。また、ボランティア活動や地域の自然や文化・伝統を生かした教育活動を実践していく。	家庭や地域の人々との連携を深め、職業調べや職業体験などにその教育力の活用を図ったり教育施設等を活用したりする。また、避難訓練や引き渡し訓練などを通して、学校と保護者、地域の人々が連携して生徒の安全意識や問題解決能力を育成する。
備考			